第３号 院友大分

発　行
國學院大學院友会大分県支部
発行責任者　支部長 髙司信太郎
編集責任者　事務局 紀田　兼宣
（金鷹山若宮八幡社宮司）

〒873-0004 杵築市大字宮司336番地
電 話　0978－62－3148
FAX　0978－69－7035
E-mail : info@kintakayama.com
公式 HP 金鷹山　若宮八幡社　検索



支部長挨拶

國學院大學院友会　大分県支部
支部長　髙司 信太郎
（79法・80神専攻）

全国に蔓延し、三年になろうとする新型コロナウイルス感染症も、ワクチン接種、手消毒、マスク、三密を避ける対策が日常のこととなり、コロナ禍も次第に減少傾向になっています。

その間、雇用や社会経済に大きな影響が出ました。私たちの生活様式は変わり、デジタル化による働き方改革が加速しています。

大学の運営、研究、教育も新たな社会展望を見据えた、変化の萌しがあります。

國學院大學の創立百四十年の歳、令和四年四月一日「観光まちづくり学部」が開設され、第一期生三〇一人が入学しました。真に喜ばしいことです。「院友大分」では、創刊号より、回数を追って、大学の諸活動と共に、「観光まちづくり学部」の動向を記事にして参ります。

この度の別大興産スタジアムで開催された「東都大学二〇二二年度春季リーグ開幕戦」は、史上初の地方都市大分での開幕でした。三日間で一万人以上の観客が詰めかけ大成功に終わりました。國學院大學の新主将　古江空知選手は、中津出身であり、國學院大學の選手四人が大分県出身であり、しかも昨季の優勝校として、凱旋選手でした。この開幕戦にあたり、亜細亜大学、中央大学、國學院大學、青山学院大学、日本大学、駒澤大学の各県支部より百八十万円の支援金と大分市及び市内商店街組合等の支援金のもと、試合前日、大分駅前祝祭の広場でセレモニーが行われ、当支部は、野崎邦康顧問が「ひな壇」に立たれ、各種イベントで、選手、監督、関係者の歓迎や屋台が出され、参加者で賑わいました。

リーグ戦は、好天に恵まれ、連日の好試合を展開、特に大学の応援団、チアリーダーに県内高校のブラスバンド部が出場し、地域振興の一助となり、県民にとっても貴重な経験が出来た地方開幕戦でした。

開催後、全国に反響し、来年以降の地方戦の開催を希望する府県が、次々に出ているそうです。来年は、愛媛県開催が予定されています。

今年度の支部総会は、当初九月の下旬に開催するべく諸準備を進めておりましたが、折からの感染症が、第七波に入り未だ終息の見えない状況を鑑み、また院友会本部からの自粛要請等もあり、中止の已む無きに至りました。

中止に至る経緯につきましては、本号の四頁に掲載しておりますので、ご高覧を戴きご理解とご賢察を賜りますようお願い致します。

令和五年度には、会員一同が一つの会場に寄り合い、親しく研鑽・懇談が出来る日が来て、また会員各位のご健勝を祈念申し上げ、支部長のご挨拶を申し上げます。



渋谷キャンパス全景

大分県支部の皆さまへ

一般財団法人 國學院大學院友会 総務部長　中里陽一（90文2）

令和４年度となり、新型コロナウイルス感染症の影響は、先行きが見えない中にも、ワクチン接種や予防の徹底などにより、昨年の今頃に比べれば、経済活動も含めて世の中に活気が出てきました。安全安心を基軸に、何ができるか、どんな方法でできるか、新しい手段や方法も検討し、実施しながら、前に進んで参りたいと考えます。

学生たちはほぼ対面での授業になり、マスク姿ではありますが、語り合い笑い合う姿を見るのは、私どももまたうれしいものです。

５月28日（土）には、院友会も３年ぶりとなる対面での支部長会議を行いました。59支部・４協力団体中、52支部・４協力団体の56名が出席。オンラインでは６名が参加してくれました。久しぶりにお目にかかるお姿は、皆さんお変わりなく、２年間という空白を一気に埋めてくれるものでした。時間も限られ、通常であれば各支部から支部長・事務局長の２名をお招きしての開催ですが、人数と時間を制限させていただきました。短い時間でしたが、３年ぶりのこの会議は、これからの本部、支部活動の新たな起点と考えます。

当日は、新しい「観光まちづくり学部」の西村幸夫学部長からも、『観光まちづくり学部について』というテーマでご講演をいただきました。國學院大學の新しい大きな柱に、全国の支部長はご自身の地域と重ね合わせて、熱心に話を聞いておりました。お手伝いできることがあれば、と名刺交換する支部長もおられました。勉強してみたいね、と語る方もおりました。参加者は、これからの國學院大學の学問の新しい可能性と方向、後輩たちの未来を強く感じ取ったようでした。

コロナ禍にあって大分県支部では、「院友大分」を創刊してくださいました。紙面を手にされた院友の皆さまに喜んでいただけるように、お手伝いをさせていただきます。

遠からぬ未来。この騒動が落ち着いた時に、國學院大學でよかった、國學院大學っていいな、と思っていただけるよう、本部・支部しっかりと手を携えてまいりたいと思います。

携わる皆さまのご尽力に感謝申し上げ、皆さまと母校との輪が一層広がりますことを祈り、ご挨拶といたします。

東都大学野球大分大会

四月二日、三日の両日に、大分市の別大興産スタジアムに於いて、東都大学野球春季一部リーグの開幕戦が開催されました。

第１カードは中央大学と対戦し、第１戦は４対３、第２戦は７対３で２連勝し勝ち点を獲得、その後、一部リーグを連戦し、最終的に母校は二位の成績を収めました。

春季一部リーグの結果

優　勝　亜細亜大学（勝点5）
第二位　國學院大學（勝点2）
第三位　駒澤大学　（　〃　）
第四位　青山学院大学（　〃　）
第五位　日本大学　（　〃　）
第六位　中央大学　（　〃　）

※第二位以下は勝率、第四位～六位はプレーオフで決定。




開会式で優勝旗返還に臨む（先頭 大分商業出身の古江空知主将）
写真提供：國學院大學広報課（以下同）



第１戦四回表、大分県支部の院友が見守る中、本塁打を放った山本大輔選手



開会式で選手宣誓を行う古江主将



第２戦勝利投手の武内夏暉投手



第１戦六回裏にマウンドに立つ新名凌馬投手（大分舞鶴高校出身）

持続可能な地域の実現に向けて観光まちづくり学部始動

國學院大學 総合企画部　後藤　匠（104文）



西村学部長による必修科目「まちづくりと観光」授業風景

令和４年４月に、國學院大學の６番目の学部となる『観光まちづくり学部』が、観光まちづくりに対する強い意欲をもった３０１名の学生を第一期生として迎え、本格的に始動しました。國學院大學がこれまで培ってきた教育・研究の実績を踏まえ、国内外の歴史、文化、自然をみつめ、観光を基軸とした持続可能な地域の実現を考え、多様な側面から地域に貢献していくことを目的とする新しい学問が横浜たまプラーザキャンパスを舞台に始まります。

観光まちづくり学部の開設にあたっては、学部の拠点となるたまプラーザキャンパス若木21を全面的にリニューアルし、教室や研究室のほか、研究室に隣接するゼミナール用の演習室、グループワークも可能なスタジオなどを設置しました。また、若木21には授業やイベントにも利用できるラウンジも設けられています。ラウンジには地域を学ぶ学部らしく、飛騨家具や天童家具などといった日本各地の特徴的な家具が配置されています。地域の家具に触れることで、学生が土地や各地域の産業、そこに住まう人々を知ることにもつながり、家具を通して地域と向き合うきっかけになればと考えています。

さて、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せていることから、現在、大学全体では感染対策を取りながら約９割の授業を対面で実施しています。観光まちづくり学部でも、４月11日から西村幸夫学部長・教授が担当する必修科目「まちづくりと観光」や各専任教員が担当する「導入ゼミナール」を皮切りに、学部の学びが無事にスタートしました。

観光まちづくり学部では、４年間の学びを導入期（１年前期）、基礎期（１年後期～２年前期）、発展期（２年後期～）に区分しています。学生は、基礎的な知識を修得した後、観光まちづくりに関わる多様な専門領域の知識を身につけるために「Ⅰ類（社会）」「Ⅱ類（資源）」「Ⅲ類（政策・計画）」「Ⅳ類（交流・産業）」の４つに分類された科目群から、自分の興味・関心に合わせて履修します。また、２年前期から３年前期にわたって開講される必修科目の「観光まちづくり演習Ⅰ～Ⅲ」では、「調査手法」、「地域分析」、「構想・提案」を段階的・継続的に学んでいきます。

文理の垣根を越えて理論と実践を学んでいくことも、観光まちづくり学部のカリキュラムの大きな特長です。そのため、フィールドワークやインターンシップで、多くの学生が日本各地に赴きます。歴史・文化、自然環境、観光・交流資源が豊富な大分県にも多くの学生が足を運び、現場から学ばせていただくことになると思います。なお、観光まちづくり学部には付属組織として「地域マネジメント研究センター（通称：ＣＭＩ）」が設置されています。同センターは、様々な地域・団体と学生・教員との交流を図る役割を担います。



「若木 21」地域産業との関わりが深い木製家具

大分県とは、西村学部長、米田誠司教授（元由布院観光総合事務所事務局長）が「おおいたツーリズム大学」で関係が深いこともあり、同センターを中心に由布市と包括的連携協定を締結すべく現在協議が行われています。

　國學院大學では、これまでも主に人材養成を通して、教育・研究の成果を社会に還元すべく努めてまいりました。今般、観光まちづくり学部を開設したことで、さらに歩みを進め、院友の皆様とも手を取り合って持続可能な地域の実現に向けた取り組みを進めて参りたいと考えております。引き続きご指導ご鞭撻いただきますよう、お願い申し上げます。



導入ゼミナール実施風景

会員各位へのお願いについて

　國學院大學院友会大分県支部会員各位の皆様方に、会計及び会報誌担当事務局より２つのお願いがあります。

《お願い①》

　今回の会報誌に年会費納入のお願い状と振込用紙を同封しております。

　当会の活動内容や会計の状況などは、随時ご報告申し上げておりますが、院友会大分県支部の活動は、これ偏に会員各位からの年会費で賄っており、ほとんどの会員には年会費をお納め戴いておりますが、残念乍ら年会費を未納の方も一定数居られます。

　どうか院友会大分県支部の活動の主旨をご賢察戴き、会員各位には年会費をお納めになりますよう心よりお願い申し上げます。

●年会費についての照会先

会　計　後藤尚子

年会費　二〇〇〇円也

（同封する振込用紙でお納め下さい。）

電話０９０−９５８９−５１１４

まで

《お願い②》

＝会報誌に寄稿のお願い＝

　昨年に創刊を見た会報誌「院友大分」は、本号で第３号を迎えました。

　年に２回（七月一日号と一月一日号）の刊行としており、半年ごとの國學院大學また院友会本部の現況や、大分県支部活動のことについて掲載を行っております。

　その一環として、今まで数名の方にご寄稿を戴いた次第ではありますが、以降毎回号で、会員各位の中からご寄稿を賜りたいと思います。

　会報誌事務局からもお願いを申し上げることもあろうかと存じ上げますが、その折には何卒ご快諾を賜り、ご寄稿を賜りますと共に、自薦他薦を問いませんので、ご寄稿をお願いできる会員が居られましたら、お手数乍ら会報誌事務局までご連絡を戴けましたら洵に幸甚に存じ上げる次第にございます。

●ご寄稿に関する照会先

事務局　紀田兼宣

電話０８０-５５０３-３４８８

メール info@kintakayama.com

※また、会員の新規加入、会員の転出・退会等のご連絡は下記の地区役員もしくは事務局までご連絡下さい。

國學院大學院友会大分県支部
令和四年度総会中止のお知らせ

　國學院大學院友会大分県支部会員各位におかれましては、日頃当会の活動につきまして、格別なるご高配を賜りますこと、洵に忝く厚く御礼と感謝を申し上げます。

　紙面をお借りいたしまして、本年度支部総会を中止とすることに相成りましたことの経緯を、茲にご説明させて戴きます。

　新型コロナウイルスの感染は、一向に留まる気配を見せず、むしろ七月に入ってからは爆発的な拡大を見せ、過去最高の感染者数を更新する都道府県が増加しています。

　院友会大分県支部としましては、感染者数の少なかった四月当初に、本年度の総会については開催することを視野に、九月二十八日（土）別府の亀の井ホテルで「文化講演会」も併せて開催する計画を立て、新型コロナウイルス感染症の予防対策も含め、本格的な準備に取り掛かろうとしておりました。

　今回の新型コロナウイルス感染症の再拡大は、感染力の強い変異型に置き換わって来ており、第七波に入ったとの専門家の見解も示されて、クラスター発生も多く報告されています。

　また今回の第七波の感染拡大を受け、院友会本部より院友会活動、特に寄り合って行事を行うことの自粛要請等がありました。

　従いまして、大分県支部と致しましても、会員の皆様の健康と安全・安心を第一に考え、新型コロナウイルス感染症予防に徹して参ることとして、総会開催を中止することと致しました。

　今年度も、昨年度同様に会務報告及び会計のご説明やご承認を戴く場を設けたいとのことから、役員の皆様にご参集を戴き、ご審議戴くことで総会とすることのご了承をお願い申し上げました。

　未だ大分県内でも多数の感染者が絶えない情勢を鑑み、苦渋の決断をさせて戴きましたこと、紙面をお借りしまして深くお詫び申し上げる次第にございます。

　今後とも、院友会大分県支部の活動に対し、ご理解とご協力を賜り度お願い申し上げ、令和四年度國學院大學院友会大分県支部総会中止のご通知を申し上げます。

國學院大學院友会大分県支部役員一覧

役員

役職名	氏名	卒期
支部長	高司信太郎	79
副支部長	塩月洋二	87
	宮本隆之	91
	萱島祥彦	86
監事	佐藤紘一郎	71
	阿部健郎	82
	三井俊夫	82

顧問

役職名	氏名	卒期
顧問	野崎邦康	71
	工藤恒彦	75

事務局

役職名	氏名	卒期
事務局長	髙橋訓信	93
事務局次長	横山田鶴子	86
	紀田兼宣	92
幹事	長山義徳	79
	原勝海	104
	園田吉治	106

事務局

役職名	氏名	卒期
会計	後藤尚子	96

地区役員

地区	氏名	卒期
中津	清水勝彦	96
宇佐	丸山信一	103
高田	山本龍司	90
国東	岐部準次	85

地区役員

地区	氏名	卒期
別府	河野景光	92
杵日		
日田	橋本敦	93
大野	佐保光康	90
竹田	上島弘二	75
臼津	佐藤景郎	96
佐伯	矢野大和	88
大分		



八幡総本宮

宇佐神宮

872-0102
大分県宇佐市南宇佐 2859
TEL;0978-37-0001

ラ・モード
サンポルテ

〒870-0105
大分市西鶴崎1丁目9-5松生ビル1F
TEL.097-522-2333 FAX.097-522-2333

AFB 株式会社 エイエフビイ

〒870-0003
大分市生石4丁目1番20号大紘ビル3F
TEL.097-535-0678　FAX.097-534-2386
E-mail afb@giga.ocn.ne.jp

實 崎 佑 一　（文史73）

塗料は花です 色で町を明るくしましょう



日本一の
おんせん県おおいた
味力も満載

塗り替えのご相談・施工お任せ下さい

有限会社 安部塗料店

代表取締役 佐藤 紘一郎（経71）

〒870-0925 大分市大字下郡字尾西1652-4
TEL097-569-6331　FAX097-569-6394
E-mail abe-toryoten@snow.ocn.ne.jp

東京の 不動産総合商社 です

SHIOTSUKI INDUSTRY

株式会社 塩月産業

代表取締役　塩月　藤太郎（佐伯市出身）

〒188-0011　東京都西東京市田無町３丁目３番２号
TEL 042-466-2177　FAX 042-467-4397　www.shiotsuki.co.jp



世界農業遺産の里
国東半島

萱島酒造有限会社
代表取締役社長
萱島　進

萱島酒造有限会社
顧問
萱島祥彦
（８６期・法）

西の関 日本酒
Nishinoseki

社会福祉法人 福祉の森

（法 79、神専 80）理事長　髙　司　信太郎
（法 86）理　事　萱　島　祥　彦

上平田事業所（本部）　別府市上平田町11組
TEL (0977) 75-9660
ホームページ　http://betsufukukai.com/

社会福祉法人別福会　福祉の森
「地域とともに福祉の森」

法人本部
別府市上平田 11 組（TEL 75-9660）
■身体障がい者福祉ホーム
■障がい者地域活動支援センター

光町事業所
別府市光町 11-5 (TEL 25-7003)
■小規模多機能型居宅介護事業

上平田事業所
別府市上平田 11 組（TEL 85-8262）
■指定居宅介護支援事業（ケアマネージャー）
■指定訪問介護事業（ホームヘルパー）
■相談支援・居宅介護事業（障がい者総合支援法）

両郡橋事業所
別府市両郡橋10組 (TEL 25-2340)
■小規模多機能型居宅介護事業
■認知症対応型通所介護事業

ONIX
有限会社 明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ

有限会社 DAIHATSU ダイハツピット店
明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ
大分県大分市東津留2-9-22（花津留バス停前）
■営業時間：AM10:00～PM7:00　■定休日：火曜日
0120-81-3322

税務・会計に関することはお任せください。
税の専門家として、高品質のサービス提供を通じ、お客様に「安心と信頼」をお届けいたします。
■税務調査対応　■金融機関対応
■節税対策　■資産運用 etc…

Tax accountant corporation AVANCE
税理士法人アヴァンス
■税理士 井上賢一　■税理士 荒巻勝也　■税理士 古澤信弘

本社オフィス　〒879-0605　大分県豊後高田市御玉６番地　TEL：0978-22-2119　FAX：0978-22-0101
中津オフィス　〒871-0022　大分県中津市大字相原3386番地の3　TEL：0979-23-0471　FAX：0979-23-1889
ホームページ　https://www.avance-tax.com/

ともに生き！ともに喜ぶ
碧い海、蒼い空、青い木々
に包まれて…医療と福祉の街。
Hot Spring of Shiraume
別府湾リゾートホーム
医療対応型有料老人ホーム（訪問看護利用）
理事長　髙司 信太郎（法79 神専80）
理　事　髙司 智太郎（法114）

一般社団法人 青山医療福祉協会
別府湾リゾートホーム　〒874-0818 別府市浜脇山家 12組
tel.080-1537-4907（担当者）
ホーム tel.0977-27-1222　デイサービス tel.0977-27-1333　fax.0977-27-1334（共通）

【無縁社会をなくす運動】推進
私たちの理念は〝家族〟になること！
白梅の花
住宅型有料老人ホーム
●入居時に経済的にお困りの方の相談もお受けしています。
理事長　髙司 信太郎（法79 神専80）
園　長　髙司 信一郎（法109 神専110）
医療　＊主治医はそのままでも構いません。提携医院／原嶋内科医院（往診あり）
在宅酸素　透析　認知症　胃ろう　インシュリン　ほか
受入可能な方　＊原則、要介護の方の施設です。
生活保護
短期利用 体験入居（3,000円／日）
静かな住宅地の中にあります。

特定非営利活動法人 青山白梅会
住宅型有料老人ホーム 白梅の花
〒874-0901 別府市中島町11番25号 Tel 0977-24-2000
受付はいつでもOK! お気軽に! お役に立ちます。
080-1537-4907（担当／施設長）
ご希望があれば老人ホーム葬（軽費）いたします。＊火葬・霊柩車などの諸経費実費は別途必要になります。